

単元名	学びの とびら			教科書の ページ	上 p.2～7
配当時数	1 時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要 領の内容	第 1 学年の内容

時	目標	学習活動
1	<p>・算数科の学び方，問題解決の方法やノートづくり方を共有したり，教科書の使い方を確認したりして，子どもたちが自ら教科書を有効に活用して，主体的，対話的で深い学びを実現できるようにする。</p> <p style="text-align: right;">上p.2～7</p>	<p>①「もくじ」(5分) 表紙裏～p.1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「前の学習」や「後の学習」が示されていることにふれ，算数の学習はこれまでの学習を基に積み重ねられていること，以後の学習へつながっていることに気づかせる。また，p.1 下欄を見て，前学年までに働かせ，成長してきた数学的な見方・考え方を想起させる。</li> <li>・表紙裏ページを見て，デジタルコンテンツが設定されていることやその使用方法，使用上の留意点にふれる。</li> </ul> <p>②「授業ページ」(30分) p.2～3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年までの学習で解決できる問題について，数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を実際に遂行することを通して，算数科における学び方や問題解決の方法を認識させる。</li> </ul> <p>③「算数マイノートをつくろう」(7分) p.4～5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業ページ」におけるノートの例を参考にしながら，ノートづくり方を学級で共有する。</li> </ul> <p>④「“新しい算数”を使った学習の進め方」(3分) p.6～7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の構成や記号の意味について調べたいときには，随時本ページを見るとよいことを伝える。</li> <li>・巻末にはオプション教材集「新しい算数 プラス」が設定されていること，その中の「ほじゅうのもんだい」(補充問題)，「ふりかえりコーナー」(知識の振り返り)，「おもしろもんだいにチャレンジ」(数学の世界での発展)があることを紹介し，適宜活用するとよいことを知らせる。</li> </ul> <p>※「指導者・保護者のみなさまへ」について これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え，子どもたちが学習習慣(特に家庭での自学自習)を身につけるためには家庭での理解・協力が不可欠であると考え，掲載したものである。保護者の方々とも連携を図りながら，教科書を有効に活用していただきたい。</p>

単元名	1. わかりやすく あらわそう [グラフと ひょう]		教科書の ページ	上 p.8~11
配当時数	3 時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要 領の内容
				D(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		簡単なグラフや表について理解し、データを整理する観点を定め、簡単なグラフや表を通じて特徴をとらえ、考察する力を養うとともに、グラフや表を用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身の回りにある数量を分類整理し、簡単なグラフや表を用いて表したり読み取ったりすることができる。
	思考・判断・表現	データを整理する観点到着目し、身の回りの事象についてグラフや表を用いて考察している。
	主体的に学習に 取り組む態度	身の回りの事象に関心をもち、グラフや表を用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	2. たし算のしかたを 考えよう [たし算の ひっ算]			教科書の ページ	上 p.12~23, 127
配当時数	8 時間	活動時期	4 月中旬～ 5 月上旬	学習指導要 領の内容	A(2)ア(ア)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(3)

単元の目標		2 位数の加法の筆算の仕方について理解し，筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに，計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	2 位数の加法計算が，1 位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し，その計算が確実にできるとともに，その筆算の仕方について理解している。
	思考・判断・表現	数の仕組みに着目し，2 位数の加法計算の仕方を，図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	2 位数の加法の筆算の仕方について，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	3. ひき算のしかたを 考えよう [ひき算の ひっ算]			教科書の ページ	上 p.24~35, 127
配当時数	8 時間	活動時期	5 月上旬~下旬	学習指導要 領の内容	A(2)ア(ア)(ウ)(エ), イ (ア)

単元の目標		2 位数の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	2 位数の減法計算が、1 位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。
	思考・判断・表現	数の仕組みに着目し、2 位数の減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に 取り組む態度	2 位数の減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	どんな 計算に なるのかな？			教科書の ページ	上 p.36~37
配当時数	2 時間	活動時期	5 月下旬	学習指導要 領の内容	A(2)ア(ア), イ(ア)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	・2 位数の加減法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。  上p.36~37	①問題文を読み、どのような式になるかを考えて解決する。	[知技]適切な立式をして、問題を解決することができる。【観察・ノート】 [態度]既習を活用して、どのような式で解決すればよいかを考えようとしている。【観察・ノート】
2		①絵を見て作問し、友達と問題を出し合うなどして解決する。	

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	上 p.38
配当時数	—	活動時期	5 月下旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。  上p.38	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	4. 長さを はかって あらわそう [長さの たんい]			教科書の ページ	上 p.39～51
配当時数	9 時間	活動時期	5 月下旬～ 6 月上旬	学習指導要 領の内容	C(1)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて量の感覚を身につけ、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、物差しが目盛りの仕組みを理解し、およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに、身の回りのものの長さを測定したり、指定された長さの直線をひいたりすることができる。
	思考・判断・表現	普遍単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	身の回りにあるものの長さに関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	5. 100 より 大きい 数を しらべよう [3 けたの 数]		教科書の ページ	上 p.52~67, 128
配当時数	12 時間	活動時期	6 月上旬～下 旬	学習指導要 領の内容 A(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) (2)ア(イ), イ(ア)

単元の目標		1000 までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	3 位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。
	思考・判断・表現	10 や 100 のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	10 や 100 のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	6. 水の かさを はかって あらわそう [水の かさの たんい]			教科書の ページ	上 p.68～77
配当時数	8 時間	活動時期	6 月下旬～ 7 月上旬	学習指導要 領の内容	C(1)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		体積について，測定などの活動を通して，長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し，単位を用いて的確に表現する力を養うとともに，体積について量の感覚を身につけ，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	体積について単位と測定の意味や，単位の関係を理解し，およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに，体積の単位を適切に選択して身の回りにある入れ物に入る水の体積を測定することができる。
	思考・判断・表現	長さの学習を基に，普遍単位の必要性に気づき，身の回りにある入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目してとらえ，目的に応じた単位で体積を的確に表現したり，比べたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	おぼえているかな？		教科書の ページ	上 p.78
配当時数	—	活動時期	7月上旬	学習指導要 領の内容

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 上p.78	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	7. 時計を生活に生かそう [時こくと時間]			教科書のページ	上 p.79~83, 128
配当時数	2 時間	活動時期	7 月中旬	学習指導要領の内容	C(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		時刻と時間の概念，日，時，分の単位やそれらの関係を理解し，数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養うとともに，それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	時刻と時間の区別，及び日，時，分の単位やそれらの関係を理解し，時刻や時間を求めたり，表したりすることができる。
	思考・判断・表現	時間の単位に着目し，図などを用いて時刻と時間の求め方を考え，説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	時刻や時間に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.84
配当時数	—	活動時期	7 月中旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 上p.84	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	8. 計算のしかたをくふうしよう [計算のくふう]			教科書の ページ	上 p.85～89
配当時数	5 時間	活動時期	9 月上旬	学習指導要 領の内容	A(2)ア(ア)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(2)(3)

単元の目標		加法の結合法則，簡単な加減の暗算の仕方を理解することを通して，加減計算についての理解を深め，計算の仕方を数や式をよく見て考える力を養うとともに，計算法則，数の見方や構成を活用して計算方法を考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	加法の結合法則や（ ）の使い方を理解するとともに，簡単な加減法の暗算ができる。
	思考・判断・表現	（ ）の中を 1 つの数とみて，式の意味を考え表現したり場面を式に表したりするとともに，3 口の数の加法計算について，数量の関係に着目し，結合法則などを基に工夫して計算している。
	主体的に学習に取り組む態度	加減の計算方法について，計算法則，数の見方や構成を活用して考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	9. ひっ算のしかたを 考えよう [たし算と ひき算の ひっ算]		教科書の ページ	上 p.90～103, 129
配当時数	10 時間	活動時期	9 月上旬～下 旬	学習指導要 領の内容 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(3)

単元の目標		既習の筆算を基に、2 位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	2 位数の加法及びその逆の減法の計算について、1 位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算の手順を基に確実に計算することができる。
	思考・判断・表現	既習の筆算を基に、数の仕組みに着目し、2 位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に 取り組む態度	2, 3 位数の加減の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	10. さんかくやしかくの形をしらべよう [長方形と正方形]			教科書の ページ	上 p.104～116
配当時数	10 時間	活動時期	9 月下旬～ 10 月上旬	学習指導要 領の内容	B(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(5)

単元の目標		平面図形に進んで関わり，図形についての感覚を豊かにしながら，三角形，四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解し，図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに，それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	三角形や四角形，直角，長方形，正方形，直角三角形の意味や性質を理解するとともに，紙を折って直角を作ったり，長方形や正方形などを作図したりすることができる。
	思考・判断・表現	辺や頂点など図形を構成する要素に着目し，三角形や四角形，長方形や正方形などの特徴を見だし，説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	身の回りにあるものの形の中から，三角形や四角形，長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	11. 新しい 計算を 考えよう [かけ算(1)]			教科書の ページ	下 p.2~24
配当時数	22 時間	活動時期	10 月中旬～ 11 月下旬	学習指導要 領の内容	A(1)ア(エ), イ(ア) (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ), イ(ア)(イ) 内容の取扱い(4)

単元の目標		乗法の意味について理解し、計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質（乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則）を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九（5, 2, 3, 4の段）を構成し、確実に唱えたりすることができる。
	思考・判断・表現	数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	九九ビンゴ			教科書の ページ	下 p.25
配当時数	1 時間	活動時期	11 月下旬	学習指導要 領の内容	A(3)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	・かけ算九九を活用して九九ビンゴに取り組み、かけ算九九の習熟を図る。 下p.25	①九九ビンゴに取り組みながら、かけ算九九を習熟する。	[態度]かけ算九九を活用して、九九ビンゴに取り組みようとしている。【観察・ノート】

単元名	12. 九九をつくろう [かけ算(2)]			教科書のページ	下 p.29～50
配当時数	17 時間	活動時期	11 月下旬～ 12 月中旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(エ), イ(ア) (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ) (オ), イ(ア)(イ) 内容の取扱い(4)

単元の目標		乗法の意味について理解を深め、計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質やきまりを見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(6, 7, 8, 9, 1の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。
	思考・判断・表現	数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や、乗法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	下 p.51
配当時数	—	活動時期	12 月中旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 下p.51	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	13. 1000 より 大きい 数を しらべよう [4けたの 数]		教科書の ページ	下 p.52～65
配当時数	11 時間	活動時期	1 月中旬～下 旬	学習指導要 領の内容 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), イ(ア) (2)ア(イ), イ (ア) 内容の取扱い(1)

単元の目標		10000 までの数についてその意味や表し方を理解し，数の概念について理解を深め，図や式を用いて考える力を養うとともに，十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	4 位数について，数の読み方や表し方，数の構成や大小，順序，数の相対的な大きさを理解し，数を書いたり読んだり，数や式の大小・相等関係を，不等号や等号を用いて表したりすることができる。
	思考・判断・表現	数のまとまりに着目し，十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり，数を相対的な大きさからとらえたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	14. 長い 長さをはかって あらわそう [長いものの長さのたんい]			教科書の ページ	下 p.66～73
配当時数	6 時間	活動時期	1 月下旬～ 2 月上旬	学習指導要 領の内容	C(1)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		長いものの長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて量の感覚を身につけ、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに、長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。
	思考・判断・表現	上位単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ、既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの長さに関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	15. 図をつかって考えよう [たし算とひき算]		教科書の ページ	下 p.74~81, 111
配当時数	5 時間	活動時期	2 月上旬～中 旬	学習指導要 領の内容 A(2)ア(エ), イ(ア) 内容の取扱い(2)

単元の目標		加法と減法の相互関係について理解し、数量の関係に着目し、場面を図に表して構造をとらえる力を養うとともに、加法と減法の相互関係を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	加法と減法の相互関係について理解し、加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式に表し、問題を解決することができる。
	思考・判断・表現	数量の関係に着目し、場面を図に表して構造をとらえている。
	主体的に学習に 取り組む態度	加法と減法の相互関係に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	16. 分けた 大きさの あらわし方を しらべよう [分数]			教科書の ページ	下 p.82~90, 112
配当時数	5 時間	活動時期	2 月中旬~下 旬	学習指導要 領の内容	A(1)ア(カ), イ(ア)

単元の目標		1/2 や 1/3 などの簡単な分数について知り，同じ大きさに分けるという操作に着目して分けた大きさの表し方を考える力や，2 つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえる力を養うとともに，具体物や図などを用いて数学的に表現・処理した過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	具体物を操作することなどによって，1/2 や 1/3 などの簡単な分数について知り，いくつかに分けた大きさの 1 つ分をつくりそれらの大きさを分数を使って表すことができる。
	思考・判断・表現	元の大きさと分けた大きさの関係や，分けた大きさは全て等しいことに着目して分数について考えたり，2 つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	下 p.91
配当時数	—	活動時期	2 月下旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。  下p.91	①「おぼえているかな？」に取り組む。	<b>【知技】</b> 既習内容に関する問題を解決することができる。 <b>【観察・ノート】</b>

単元名	17. はこの 形を しらべよう [はこの 形]			教科書の ページ	下 p.92～97, 113
配当時数	5 時間	活動時期	2 月下旬～ 3 月上旬	学習指導要 領の内容	B(1)ア(ウ), イ(ア)

単元の目標		箱の形をしたものを観察したり作ったりする活動を通して、正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	箱の形をしたものの構成要素について理解し、正方形や長方形を組み合わせたり、ひごなどを用いたりして、箱の形を構成することができる。
	思考・判断・表現	頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を見だし、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	身の回りにあるものの形の中から、箱の形をしたものを見つけ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	計算ピラミッド			教科書の ページ	下 p.98～99
配当時数	2 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要 領の内容	A(2)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	・既習内容を総合的に適用して問題を解決することを通して、問題解決の能力を伸ばす。  下p.98～99	①計算ピラミッドに取り組み、既習の加減計算の練習をする。	[思判表]ピラミッドの下のますに同じ数を入れたときのきまりについて考え、説明している。【観察・ノート】 [態度]意欲的に計算ピラミッドに取り組みようとしている。【観察・ノート】
2		①p.99 上の問題に取り組み、下のますに同じ数を入れたときのきまりを見つける。 ②p.99 上の問題で見つけたきまりが、他の数でも成り立つかどうか確かめる。	

単元名	2 年の ふくしゅう			教科書の ページ	下 p.100～104
配当時数	4 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要 領の内容	A～D

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1 ～ 4	・既習内容の理解を確認する。  下p.100～104	①問題を解決する。	[知技]既習内容について解決の仕方を理解し、問題を解決することができる。【観察・ノート】